

八王子市立横山第一小学校 学校経営計画

1 めざす学校像・子ども像・教師像

(1)学校像

学校は子どもたちにとって、明るく元気に楽しく学び、充実した時間を笑顔で過ごせる場であってほしい。また、保護者にとって、安心して我が子を送り出し、共に学びに参加できる場であってほしい。そして、地域にとっては、生涯学習実現の場であるとともに、学習や行事等にも積極的に参加し、児童の育成に携わってほしい。地域の中の横山第一小でありたい。だからこそ、次のスローガンを掲げる。

子どもをど真ん中にして、学校・保護者・地域が関わり合える学校をめざして

(2)子ども像

子どもたちが意欲をもって学び、豊かな社会性を身に付け、心身ともに健やかに成長できるよう、次の児童像を掲げて学校教育を充実させる。

◎考える子（知） ○助けあう子（徳） ○元気な子（体）

知・徳・体の基礎基本の指導を中心に、探究学習に取り組み、地域、社会に貢献できる人間を義務教育9年間で視野に入れて育成する。

(3)教師像

- ① 「組織に貢献」 ・組織の一員としての役割と責任を自覚し、公務員としての自覚をもち、協働して成果を上げる意識をもつ。
- ② 「教師力の向上」 ・授業力、学級経営力の向上のために研鑽に努めるとともに、互いに学び合う意識をもつ。
- ③ 「挑戦する教師」 ・例年にとらわれず、今、目の前にいる子どもたち一人一人のために、何ができるのかを念頭において、失敗を恐れずにチャレンジする意識をもつ。

2 目標と方策

○はちおうじっ子ミニマム並びに習得目標問題レベルの学力の定着と向上

国や都や市の学力調査の結果において、個人差が大きく、学年構成によって平均の変動が起こる。そのため、今後も基礎学力の定着と向上のための継続した指導が必要である。個別最適化した指導の充実、ユニバーサルデザインの観点を踏まえた合理的な配慮、ICTを活用した、わかる・できる授業の推進、教師の個々の指導力の向上、学力向上策に基づく組織的な授業改善を推進していく。横一プラス（全学年週1回の朝学習）を充実させるとともに、ミライシードのドリル機能を有効活用した家庭学習を通して、確実にちおうじっ子ミニマム並びに習得目標問題レベルの学力の定着を図る。

○主体的・対話的で深い学びを実現するための授業作りに取り組む。

教師主導の一問一答式、教師による説明一辺倒式の授業ではなく、子どもたちの興味・

関心や意欲を高め、問題解決型の授業を実践する。そのためにも地域人材や外部団体等と連携し、多様なゲストティーチャーと連携を図って体験的な学習を取り入れるようにし、探究学習につなげていく。また、課題を自分事として捉え、自分なりの考えをもち、話し合い活動する中で、自分の考えを深め、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。

○言語活動、読書活動の充実

各教科等の指導に当たっては、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動を充実させる必要がある。また、読書は知的活動を推進し、人間形成や情操を養う上で必要な言語かつ動を充実させる必要がある。そのために学校司書を活用し、本の読み聞かせやおすすめ本コーナーや蔵書等の充実を図り、学校図書館の利活用をさらに推進する。

○社会性・人間

日常生活や社会における常識、礼儀、規範意識の指導を充実させ、社会とのかかわりの中で、自分を生かす力を育てていく。それとともに自分と社会の関係や社会の仕組み、自らの生き方を考える指導やよきリーダーを育てるためにリーダーシップを育む指導の充実も図り、自分の将来に対する夢や希望の充実を図り、キャリア教育の推進を図っていく。また、副籍交流や特別支援学級と通常学級の交流及び共同学習を推進していく。

○健康の維持・推進

義務教育9年間を見通して、一貫した健康教育の推進を図る。保健集会や保健指導等を充実させ、健康に関する関心を高め、自ら健康を維持増進する態度を育成する。また、体力調査を基に児童の体力の実態と変容を把握し、体育指導を充実させ課題の改善を図る。

○安全・安心の確保

学校が子どもたちにとって安全で安心して過ごせる場とするために、安全指導・安全点検を充実させるとともに、学校安全計画に基づく校内外の安全体制整備と教職員の危機管理意識のさらなる高揚を図っていく。また、いじめ、不登校を減少させるためにも、週1回のいじめ対応の時間を充実させ、スクールカウンセラーやSSW、子ども家庭センター、児童相談所等の関係機関と連携を図り、早期発見・早期対応による迅速かつ適切な指導を推進していく。いじめに関する情報が入ったときは、学校として対応し、その日のうちに聞き取り等を行い方針を示していく。

○家庭・地域との連携

地域運営学校として、家庭、地域の教育力を有効活用し、学校教育への理解を深めるとともに、教職員にも地域行事等へ積極的に参加できるようにし、保護者・地域との連携をさらに充実させる。また、毎月行われる学校運営協議会で情報を共有し、学校運営に

ついて協議し、地域の人々との関わりを深めた教育活動を行い、家庭・地域と一体となって子どもたちの健全育成を推進する。

○特色ある学校づくり

たてわり班活動の内容の充実を図り、子供たちの自主・自律を促進させる。地域環境地域素材を活かした体験活動を取り入れて探究学習に取り組み、自分たちの住む町への愛着を深め、自分が地域の一員であることを意識して生活しようとする心を育てる。地域の教育力を活かし、自然環境や農家、近隣大学と連携した専門性の高い授業やゲストティーチャーと連携した授業を充実させる。

○学校経営・学年学級経営の充実

同僚を高め、例年通りではなく、その時に対応して主体的に考え行動できる集団とする。また、教員一人一人が振り返りを意識して常に自分の指導や経営を振り返り、次につながられるように見通しをもつ。学年会の充実を図り、児童のことや授業の推進状況、課題や取組などの共有を図り、学年全体で指導する。公務員としての自覚を高め、サービスの遵守を図る。